



今日の授業風景（中学部2年生）

8月25日（火）の3時間目、中学部2年生の教室を訪ねてみました。

社会科（地理的分野）の時間、生徒たちは「九州地方テーマ学習」と題した調べ学習に取り組んでいます。「伝統文化」や「防災・自然」など、6つの班がそれぞれ異なる視点で探究を進めてきました。この日は、これまで各自が深く調べてきた内容の班内プレゼンテーションが行われていました。

右の写真（写真）は、「伝統文化班」が鹿児島県や福岡県について発表している様子です。鹿児島県については、「薩摩切子」や「大島紬」といった伝統工芸にとどまらず、「デジタルとトレーサビリティ（追跡可能性）」という専門的な視点まで紹介されており、その探究の深さに驚かされました。また、福岡県の発表では「抹茶」のグローバル化と世界進出に着目。お茶といえば静岡県が有名ですが、福岡県の意外な強みを知る良い機会となりました。



【生徒作成プレゼン資料より一部抜粋】

一方、「一次産業班」による宮崎県のきゅうり栽培の発表では、深刻な後継者不足を背景に、収穫作業の効率化を目指す「スマート農業」が紹介されました。AIの導入や収穫ロボットの活用が具体例として挙げられましたが、ここで興味深い一幕がありました。ロボットの運用について、他教科（技術科）の栽培学習で学んだ「きゅうりのトゲ（イボ）は潰さないように収穫すべき」という知識と結びついたのでした。まさに「知識と知識がつながり」、学びがさらに深まった瞬間でした。

発表の際は、プレゼン画面が各生徒のタブレットに手元共有され、内容がより伝わりやすくなる工夫も見られました。この学習は、九州についての知識を深めるだけでなく、「自分の言葉でどう伝えるか」という発信力を養う、大変貴重な学びの場となっています。

運動会に向けて、猛練習中（小学部4年生）

運動会本番まで、あと1週間ほどとなりました。

8月26日（水）の2時間目、グラウンドでは小学部4年生が運動会競技「JSBハリケーン!2026☆彡」の練習に励んでいました。この競技はいわゆる「台風の目」ですが、本校ではアレンジを取り入れています。1本の棒を数人で持ってコースを駆け抜けた後、待機しているメンバーの足元と頭上を全員で飛び越え（くぐり抜け）なければなりません。そのため、自分



の番が終わった後も一瞬たりとも気が抜けない、スリリングな緊張感があります。

どんな競技でも、練習を重ねるごとに「コツ」が見えてくるものです。ぜひこれからチームでじっくりと作戦会議をして、たくさんの「コツ」を見つけていってほしいと思います。もちろん、その秘密の作戦は本番までライバルチームには「秘密」ですね。



「進路講を考える会」がスタート（中学部）

「夢や将来の展望を持つこと」は、充実した人生を送る上でとても大切なことです。かと言って、すでに大人になって久しい自分自身を振り返ってみても、小・中学校のころに「絶対に〇〇になる!」「将来のために〇〇を学ぼう」などと、深く考えていた記憶はありません。保護者の皆さまはいかがでしょう。



さて本校では、子どもたちが少しでも「夢」や「将来」に目を向けるきっかけになればという共通の課題意識のもと、中学部で毎年「進路を考える会」を実施しています（小学部の高学年でも同様の行事があります）。今年は 7 組の講師をお招きし、それぞれの「進路」や「職業」についてのお話を伺うことになっています。

8 月 25 日（火）の 7 時間目、その第一弾として「現役大学生の兄妹お二人」を講師にお招きしました。社会に出る一歩手前にいるお二人の存在は、生徒たちにとって「少し先の未来」を映し出す鏡のようであり、非常に価値のある貴重な機会となりました。

【講師の皆さんのご紹介】 兄：経済科学部 4 年生 妹：経済学部 2 年生

【講演からのメッセージ（これからの君たちへの応援）】

今の努力の積み重ねが未来につながる 失敗しても挑戦し続けよう

【印象的だった質疑応答】

Q. スマホやゲームから離れられない時はどうすればいい？

A. 高校時代、スマホを開かないように画面の壁紙をあえて苦手な虫の画像にしていました。

Q. 新しいことに挑戦する時、ためらってしまう時は？

A. 「案外、周りの人は気にしていないものだ」と考えるようになってから楽になりました。

実は今回講師を務めてくれたお二人は、小学部 3 年 B 組の先生のお子さん方です。夏休みの貴重な期間中にこのような大役を快く引き受けてくださり、心より感謝申し上げます。また、ここ数日間「お兄ちゃん先生」「お姉ちゃん先生」としてボランティアで子どもたちと接してくれていることにも、併せてお礼申し上げます。今回の JSB での経験が、お二人の今後の人生にも役立つことを願っています（もし将来、教員を目指していただけたらさらに嬉しいですね）。

ちなみに、お父さんである先生に聞いたところ、ご家庭では階段の両側の壁に「世界史の年表」を貼り、自然に覚えられる工夫をされていたそうです。ご家族の温かいサポート体制も大変素敵で、学びの多い時間となりました。



学外での活躍をお知らせください ～子どもたちの自信と自己肯定感を育むために～



先日の「学校だより 第 23 号」の裏面にて、「英検・フランス語検定 合格者を祝福」という記事を掲載いたしました。自分の努力や成果を広く認められ、称賛される体験は、子どもたちが自分への自信を深め、自己肯定感や自己有用感を高める大切なきっかけになると考えております。

そこで、学校外での各種大会、コンテスト、検定などで素晴らしい成績や成果を収められた際には、ぜひ担任までお知らせください。学校で把握しきれない地域や個人の活動についても、全校集会の場などを通じて、校長から広く紹介し、みんなで称え合いたいと考えております。（※あくまで「任意」です）

まずは「自己申告制」の形で始めます。保護者の皆様のご協力をどうぞよろしくお願いします。